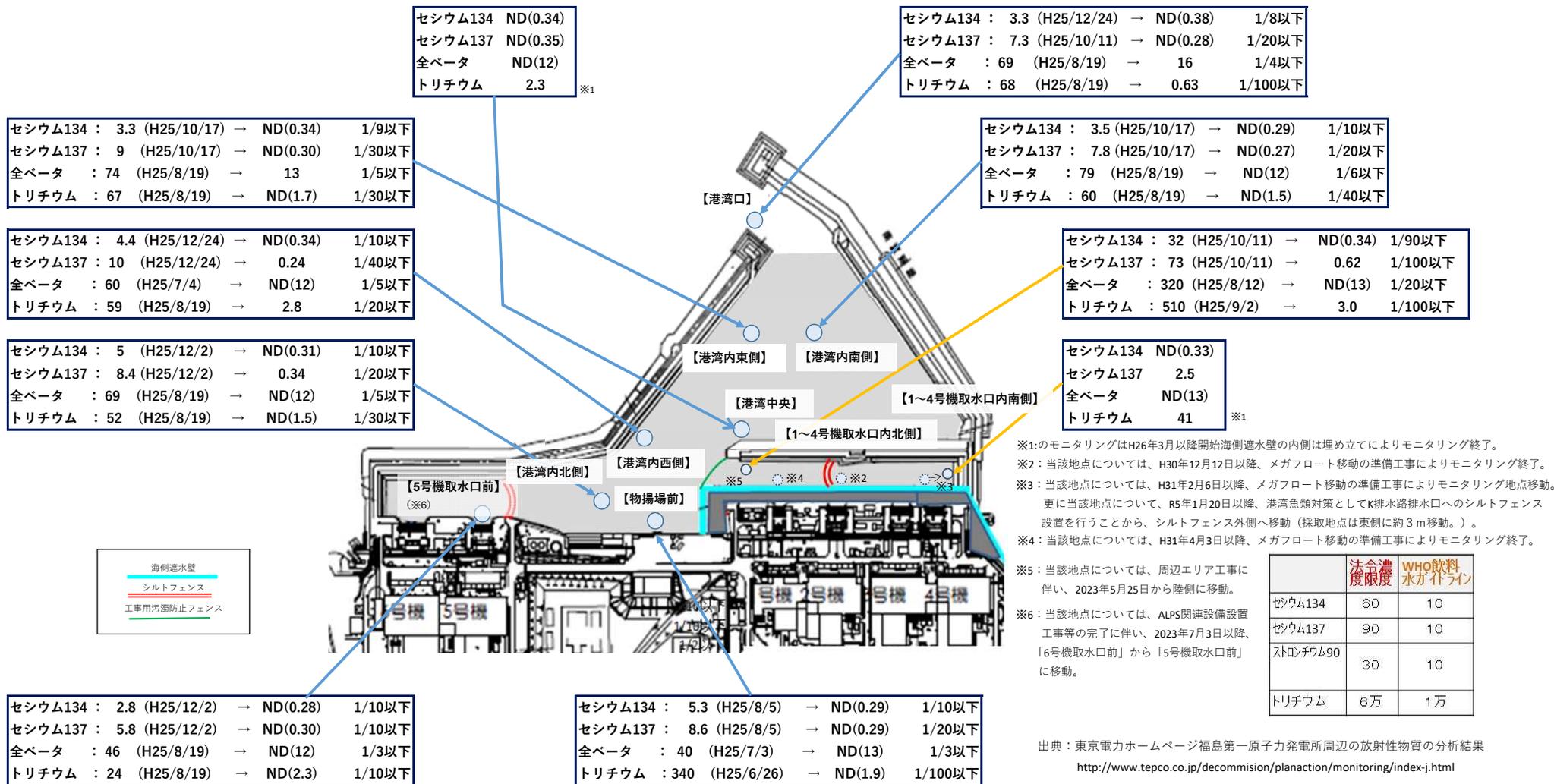


港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(10/21-11/25採取)』の順、単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

令和6年11月26日までの東電データまとめ

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。



港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 10/21 - 11/25採取）

令和6年11月26日までの東電データまとめ

	法定濃度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.27)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.25)
全ベータ	: ND (H25) → 14
トリチウム	: ND (H25) → 0.82

【港湾口東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.26)
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18) → ND(0.30) 1/2以下
全ベータ	: ND (H25) → ND(12)
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18) → ND(0.34) 1/10以下

【港湾口南東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.26)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.27)
全ベータ	: ND (H25) → ND(12)
トリチウム	: ND (H25) → ND(0.37)

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.33)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.22)
全ベータ	: ND (H25) → ND(12)
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18) → 6.0 1/10以下

【北防波堤北側(沖合0.5 km)】

【港湾口】

セシウム134	: 3.3 (H25/12/24) → ND(0.38) 1/8以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11) → ND(0.28) 1/20以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19) → 16 1/4以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19) → 0.63 1/100以下

【南防波堤南側(沖合0.5 km)】

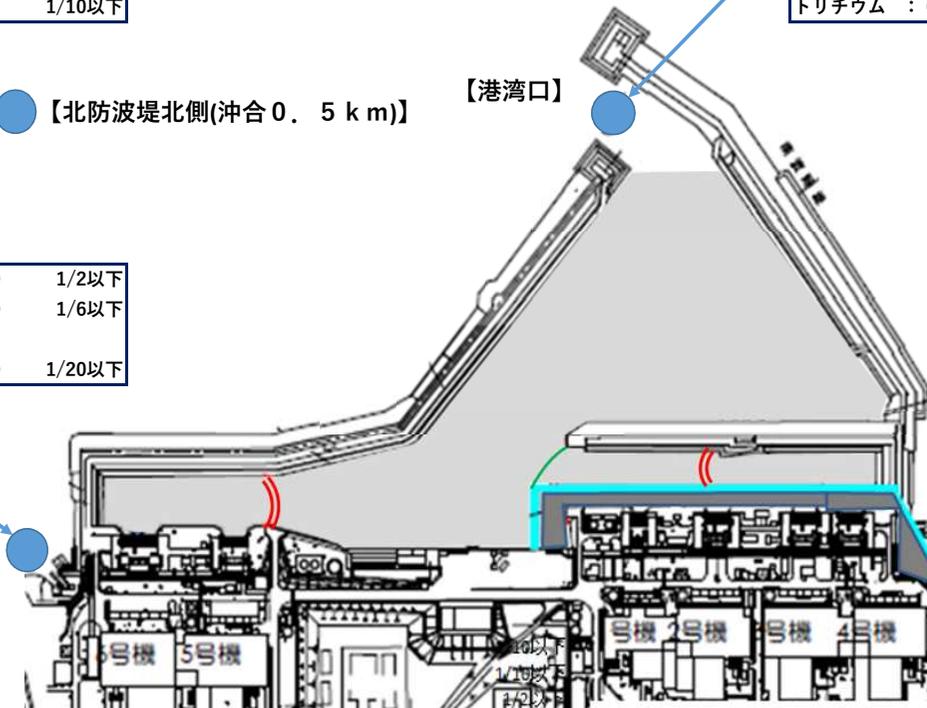
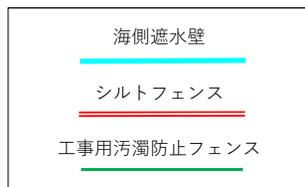
セシウム134	: 1.8 (H25/6/21) → ND(0.67) 1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17) → ND(0.67) 1/6以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23) → 13
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26) → ND(0.32) 1/20以下

【5,6号機放水口北側】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.30)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.29)
全ベータ	: ND (H25) → ND(12)
トリチウム	: ND (H25) → 0.81

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.86)
セシウム137	: 3 (H25/7/15) → ND(0.77) 1/3以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23) → 11
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25) → 1.2 1/2以下

【南放水口付近(※)】



注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320mの地点から同放水口から南に約1,300mの地点に変更。R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320mの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を南放水口から南に約1,300mの地点に変更。